

# ひびきあい

[発行] 社会福祉法人 大阪福祉事業財団「貝塚こすもすの里」 [発行責任者] 施設長 河崎 隆利  
[住所] 〒597-0042 貝塚市名越1087-5 TEL(072)421-3838 FAX(072)421-3837 貝塚こすもすの里QRコード→



## 春が来ました



### 新しい仲間が増えました



施設長 河崎 隆利

今年も桜の花がほころび、あちこちで花をめぐる人々の風景がみられました。日本独特の「花見」という風習 私たちの誰にも「旬」があったり「実を結んだり」、そういった「ほころぶ(固く閉ざされていたつぼみが開き、咲かせる)瞬間」があるものだと思います。

もちろん、若さや健康、夢中になつて打ち込むことがあるというのは素敵なことです。ただ、それはその時期だけであつてはならない。人生はもつと贅沢に過ぎなければもつたない。年をとつても、体調がすぐれない時でも「好きなこと」「好きな人」「嬉しいこと」は、いつでも私たちが「ほころばせてくれる」。誰もが今と未来を生きる。いつでも「これから」。桜のように、皆でしっかりと「ほころんで過ごす一年」にしたいと思います。

### 新年度のご挨拶

# ふなで

[発行] 社会福祉法人 大阪福祉事業財団「せんごくの里」  
[発行責任者] 施設長 河崎 隆利  
[住所] 〒597-0051 貝塚市王子1183-3  
TEL (072) 437-1075 FAX (072) 437-1076

ホームページQRコード→



## さくら満開「お花見の会」



春のミニ色紙作り



豪華手作りお花見弁当



ヤギさんとふれあい

毎年、開花状況とお天気の心配でヤキモキするお花見ですが、今年は晴天と満開の桜に恵まれ絶好のお花見日和になりました。午前と午後に分かれて、お花見ドライブ散歩と桜の作業を楽しみました。ドライブは奮原のいぶきヴェイレッジさんにお邪魔して、桜や池を眺めて散歩したり、ヤギと触れ合ったりして過ごしました。作業はミニ色紙に折り紙の桜を貼って好きなものを描いて、それぞれの思いを表現して家族様へのお土産ができました。

支援員 山口 由香



日本ミュージック・ケア協会  
認定指導者 浦川 暁美

**ミュージック・ケア**  
ミュージック・ケアは「その人がそのらしく生きるための援助」を音楽と活動を通して行う方法として、戦後間もなく創案された方法です。教育現場で生まれたこの方法は、メソッドの内容を見直しながら研究開発を続けています。身体の動きや表情でお互いの気持ちを伝え合う、言葉を使わないノンバーバルコミュニケーションの手法です。セッションでは私達のアセスメントの力が問われます。利用者さんの変化をいくつ発見できる？何回ほめることができる？動作模倣しようとして手にチカラが入った、「止まるよ」の合図に真剣な表情で止まろうと頑張っていた、曲の終わりの拍手ができた、タイミングよく声が出た、お一人お一人の変化を見つけることは寄り添うことや共振することへの第一歩だと感じています。



総主任 成岡 史紹

**せんごくの里 事業紹介**  
生活介護（青い空）ではオリジナルの自主製品「油っこちゃん」をはじめとした様々な製品の作成や複数の業者さんからの内職を請け負い作業に取り組んでいます。就労継続支援B型（白いくも）ではカフェでの接客や厨房補助、外部への販売などに取り組んでいます。朝と夕方には日中一時支援も行っており、ドライブや散歩に出かけたりと利用者さん思いの思いに過ごしておられます。カフェの日替わりランチが利用者さんの昼食メニューという事もあり、毎日の昼食を楽しみにしておられます。ぜひランチがてら見学にお越しください。

**福祉のひろば**

大阪福祉事業財団では、月刊誌「福祉のひろば」を発行しております。



定価500円+税

担当 大蔵・野村（早）

**後援会会員募集中**

大阪福祉事業財団には、救護施設、保育園、児童養護施設介護老人福祉施設、養護老人ホーム、乳児院、障害児者の生活施設や通所施設など22施設がございます。私どもの法人の応援団になって頂ける会員の方々を募集しております。

「年会費1口3,000円」「郵便振り込み番号：0090-3-14013」  
詳しくは、財団後援会事務局 TEL06-6931-2983 までお電話ください。



**ひな祭り**



**仲間の交流会**

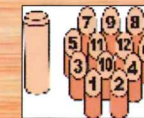


今回の仲間の交流会では、きょうされん大阪大会の時に使う看板を、協力して作りました。みなさん最初は緊張されてるよう感じましたが、絵を描き進めていくうちに表情も柔らかくなり、色んな画材を使ってアイデアを形にされ、大作ができました。出来上がった作品を見ながら「楽しかった。みんな上手やな」と笑顔がたくさん見られました。

支援員 森 百合香



**モルック貝塚大会**



「ミニらいとモルック大会」に初参加、参加者100名超の大会でしたが、こすもすチームは職員2名・利用者4名が2チームに分かれての参加となりました。惜しくも1回戦敗退となりましたが、みなさんゲームを楽しまれており、笑顔で終える事が出来ました。再度参加できるように、今後もモルックの取り組みを続けていきます。

支援員 谷口 敦彦